

コラボえどがわ 部会紹介

コラボえどがわの部会事務局を担当している鶴岡正明です。「江戸川区の地域の資源をもっとつなげたい！ 地域にもっと貢献したい！」という思いから4つの部会を立ち上げました。メンバーは法人内の各事業職員から選出され、各部会とも第一回目の打ち合わせを行いました。そこで作られた目標や今後の取り組みについて、ご紹介します。

防災部会

被災地で実際に起こった福祉現場の不幸を教訓にして、災害発生時に必要なことを迷わず行える体制づくりのため事業継続計画(BCP)の作成と訓練の企画運営を行うこととなりました。来春には初の法人合同の防災訓練を企画しています。

広報部会

コラボえどがわとしてのメッセージ「自立」「その人らしさを大事に」「地域といきる・つなぐ」の統一と発信を目標に活動することとなりました。具体的には年4回の花きりん新聞の発行や各事業所のパンフレットリニューアルを担当します。今後にご期待ください。

地域交流部会

医療職、福祉職、技術職、事務職と他業種が混在するコラボえどがわ職員の懇親と、他事業所や町会など外部の方とのパイプとなるようなことを企画していくこととなりました。働きやすい職場づくりと利用者様が住みやすい地域づくりを目指して活動してまいります。

家族会運営事務局

すでに毎月定例で行われている家族会を更に盛り上げるべく部会化しました。家族同士の交流や疾病理解など情報交換を行える仲間が集う家族会「きずな花きりん」の運営サポートを行っています。毎年12月にご家族に加え当事者の方や職員も多く参加され盛り上がりを見せています。

以上部会の目標と今後の取り組みについてのご報告になります。次回以降も引き続き部会報告を掲載してまいります。次号は実際の取り組みをご報告できると思いますので引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

- ☆ 新しくなった花きりん新聞！
- ☆ コラボえどがわの活動を「わかりやすく！ 楽しく！」
- ☆ 年間4号の発行、なるべく最新の情報をお伝えします！

編集長の菊池です。部会紹介にあったように、今回新設された「広報部会」による初めての仕事が、この花きりん新聞17号になりました。新しくなった花きりん新聞では、コラボえどがわや各事業所が取り組んでいる地域での活動などを、写真や図解なども用いて、なるべくわかりやすく、そして新鮮なうちにお伝えしたいと思っています。「新聞」なのでそこにはこだわりたいと思っています。今号では、「ワーク花きりん」で以前から取り組んでいるレザークラフト班の活動内容の紹介を利用者の方のレポートも交えてお届けしました。次号は「防災」特集の予定です。今年は台風17号、19号をはじめ、多くの災害が日本を襲いました。われわれも災害時の利用者様の安否確認やサポートできること、事業継続などを現在、様々な方法で模索しています。そんなコラボえどがわの防災への取り組みを紹介できればと思います。



花きりん新聞

第17号

発行者 コラボえどがわ

令和2年 1月発行



令和2年、オリンピックイヤー！

花きりん新聞は、大規模リニューアルいたします。年内4号発刊します。今年もよろしくお祈りいたします。



障害のある方に自分らしく生き生きと活動してほしい！ そんな想いを大事に「ワーク花きりん」は活動しています。本号では、今や「ワーク花きりん」の代名詞ともなっている、レザークラフト班の活動を集めます。実際に中心的な存在「マイスター」として活躍している利用者様がレポートしてくれました。

こんな素敵な
レザートレイをつくって
います！



障がいがあっても自分らしさを取り戻し、主体的に生きていくことができるよう応援するコラボえどがわと、モノづくりを通して世の中を元気にする会社、アッシュコンセプトと一緒に作りました。

● 利用者さんの声

ワーク花きりんの奥にある小さな工房で日々作られている革製品の数々。今までも手縫い・手仕事で小さいながらも確実な仕事でファンを増やしていましたが、この度、アッシュコンセプト様からプロのデザイナーさんと組んで革製品を作ってみませんか？ととっても魅力的なご提案をいただき、プロジェクトが立ち上がりました。一見カラフルでさぞ楽しそうに作ったのだらうと思われるかもしれませんが、とにかくコバと呼ばれる部分(革の切断面)の処理に てこずりました。通常は紙やすりで削ってから薬剤を塗って布で磨いてピカピカにするという方法をとるのですが、合成樹脂を塗ってつるつるにしたい！という希望が出て色んなものを試しました。試しに試した結果、いつも通りの方法でOKもらった時は、何となく自分たちの技術を買っていただいたような気になり、嬉しくなりました。貴重な機会をいただけたことに感謝しています。

● 商品について

- ◆製品名
「"equalto" Wavy Tray」
("イコルト" ウェーヴィー トレー)
- ◆色・展開
サイズ 大・小の2種類に、それぞれ色が
ブラック・ブラウン・ブルー・オレンジの4色。
- ◆価格(税抜き)
大・4,500円、 小2,500円
- ◆販売場所
KONCENT in 蔵前並びに、都内にある
KONCENT shopで順次販売中。
- ◆ウェブ販売
ハンドメイドマーケットプレイス Creema
<https://www.creema.jp/>

ワークショップやりました！

ワーク花きりんレザー製作所

子どもたち向けワークショップ大人気！

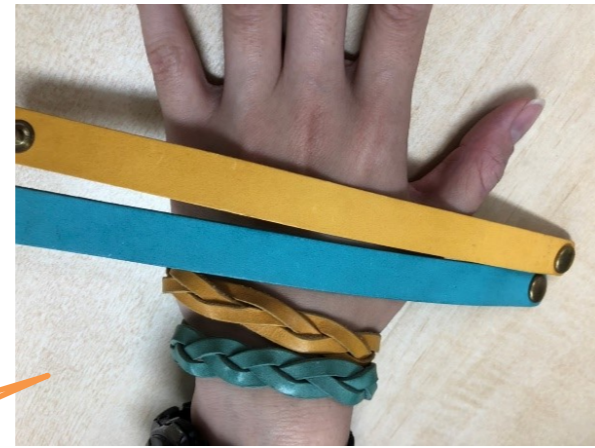
2019年7月21日タワーホール船堀

ついにこの日を迎えた子供向けワークショップの日。ワーク花きりん総出で準備してきたので、余り人が来なかった・・・なんて事にだけはなってほしくない！そんな不安な思いで、ドキドキしながらのスタート！

でも少しすると身動きが取れなくなるくらい、子供たちや保護者の方々が並んでくださって、嬉しい悲鳴まであがることになりました。

革職人として、foglio rosso(ワーク花きりんのレザーブランド)として、品質にはこだわりました。

実際に準備した2種類の革のブレスレット。



こちらで準備したのは2種類の革のブレスレット。ひとつは2本の線状の切れ目が入ったバンドをマジック編みと言われる方法で三つ編みしていくと、お洒落な革のブレスレットになるというもの。もうひとつはまっさらな革のバンドに金属やプラスチックの刻印道具を用いて思い思いの模様をつけていただき、この世に一つしかないブレスレットを作っていたくというもの。

気軽にファッションに取り入れられそう！「可愛い！」と、編みブレスレットは大人の方にも人気があり、親子で作られる方も多かったです。

刻印ブレスレットは編むのは難しい小さなお子様や発想力が豊かなアート系のお子様好まれて作っているケースが多かったようです。どちらも気に入り、二つとも作られた方もいて、準備した我々としては本当に嬉しいお言葉をたくさん頂きました。



MOFCA様に「革看板」を納品！

千代田区の障害者よろず相談所 MOFCAは、千代田区の障害のある方が、何でも相談できたり、パソコンや読書などをゆったり楽しめる素敵な憩いの場所です（MOFCAは、千代田区の委託を受けて、株式会社MOFが運営しています。）。

そんなMOFCA様よりオーダーを受け、ワーク花きりんレザー班が、なんとすべて「革」製の巨大看板を作成、納品させていただきました。



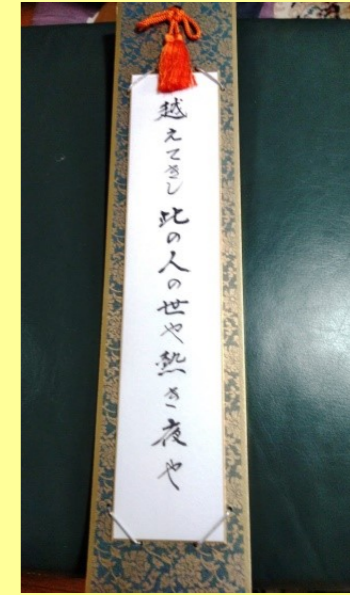
土台は牛一頭分の皮をまるまる使用！文字部分は立体感を重視して、すべて手縫いです。細部までこだわって、丁寧に作っています。

あーと花きりん

利用者様作品紹介



作品名:ビーズアクセサリー
ペンネーム:てるみ



作品名:俳句
ペンネーム:IT



作品名:根付とクリップ
ペンネーム:キリ



作品名:
りす
切り絵
ペンネーム:1・N
コメント:
次も頑張ります。



作品名:刺し子 ペンネーム:マリーちゃん
コメント:以前は1本取りの糸が抜けてしまい大変でしたが、最近は1本取りもスムーズに取り組めるようになりました。



作品名:洗濯ばさみクリップと折り紙のポチ袋
ペンネーム:りえちゃん
コメント:シールを工夫して切って貼り付けました。